

老舗革製品メーカーと障がい者支援へ

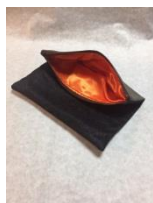
株式会社NAGOMI(本社:京都市中京区 代表取締役:本多和憲 以下「当社」)は、皮革製品メーカー株式会社エクレール(本社:大阪市阿倍野区 代表取締役:藤田定信 以下「エクレール」)と、業務提携をし、革製品の製作工程で生じる端切れを利用した商品開発を、当社が運営する多機能型事業所「なごみ」(以下、「当事業所」)にて行い販売を開始致します。

現在、障がい者支援では、「経済的自立」、「職業選択」の拡大が急務の課題となっています。今回、この提携により、商品開発から販売までの工程を分割し、革製品制作業務を実際に体験することで、障がい者雇用の職業選択の幅およびスキルアップを目指します。また、当事者が継続して業務にたずさわり、その意義を理解する機会を作り出すことも目的としています。

障がい者支援の商品において、一般的な「買ってもらう」という社会貢献的な意義づけ以上、すなわち継続的な購入やファンの形成ということ視野に入れて、デザイン性だけでなく、耐久性に優れたエクレールの革製品の特性を生かした「売り続けられる商品」の形成と、当事者の積極的な社会参加と、高い職人技術スキルの形成および、伝統工芸の継承者としての意義を高めることを目的として、ここに業務提携をいたします。

【今回のプロジェクトの経緯】

エクレールが革製品を製造する際に、高級なワニ革などの革の端切れが出ている事実を知り、廃棄はもったいないという思いで、当事業所の当事者に「何か製品を作ってみることはできないか？」と相談したところ、下記の写真の製品が出来上がった。



関係者に見せたところ、「販売できる可能性がある」という意見だった。これにより当事者のスキルをあげることで、障がい者の雇用促進、商品での販売拡大という可能性が見えてきたため、今回の業務提携に至った。

【今後の展開】

当社が運営するECサイト(開発中)、および取引のある販売店を中心に販売する。デザイン性に高めた上で海外での販売も進めていくことも視野に入れている。